

# Mランドニュース Vol.120

## 丹波ささ山校 平成29年3月1日発行

発行 (株)篠山自動車教習所 〒669-2436 兵庫県篠山市池上569  
TEL. 079-552-0815 FAX. 079-552-3940 発行責任者 井本 徹  
<http://www.sasayama-ds.com/> E-mail info@sasayama-ds.com

### 《今月の言葉》

「社員は、権利を半分にして義務を二倍にすることを心掛ける。そして五分早く出社して、ゴミを拾ったり、誰かが喜ぶことをする。五年くらい続けると、自信となり、周りの皆様が協力してくれるようになる」

(株)タニサケ 松岡 浩会長のことば  
「タニサケ塾」参加者より

### 二月のMランド

二月のMランドは全国から多くのゲストをお迎えし、賑やかな毎日を送っていました。

Mランドといえば「朝のボランティア」。卒業されたご友人からおはなしを聞かれてご参加されるゲストもあります。

毎朝ロビーには、自分の意思で掃除に参加されるゲストが続々と集まってこられます。



今日も元気に集合「やるぞー！」

「トイレ掃除に学ぶ会」は、単に便器や床を素手で磨くのではなく、その道具を使う意味や方法、我々に欠かすことのできない大切な「水」に対する再認識、また、効率を考えた手順などを「トイレ掃除」から学んでおられます。

掃除が始まりますと大半のゲストは驚かれますが、しだいに気持ちが入り、便器に近づき身を低くして取り組まれます。



小さい汚れもよく見えます

次はゲスト自ら使用する教室やロビーの掃除と、毎朝インストラクターが取り組んでいる「タイル磨き」に興味をもたれて、「よしっ！自分もやってみよう！」と参加される「校内清掃に学ぶ会」です。乱れている環境に対し、美しく整った環境での仕事や勉強、スポーツなどの集中力や効率の高さは言うまでもありません。



美しい環境で教習できます

ゲストの皆さんが自分たちで行なうのですから、これと相まって愛着心も育まれ、しぜんと施設をきれいに使われるようになります。

一方、ゲストの「タイル磨き」の前に、インストラクターが仕上げたタイルをご覧いただきます。「おお！きれい！」と感嘆の声と同時に、「自分もここまで磨いてやろう」とスイッチが入ります。



静かなロビーに磨く音だけが

五十分間黙々と磨き上げたタイルの輝きが、達成感をさらに大きくします。つづいて「近隣掃除に学ぶ会」は、主に道路のゴミ拾いをしていきます。積雪のために中止になった日もありましたが、実施日には寒風の中、一所懸命に取り組んでいたできました。

その中、小さな公園で子供たちが捨てたであろう駄菓子の袋や包み紙が散乱している日がありました。そのゴミを拾いながら女子大学生のゲストが一言、「子供たちが悪いんじゃないんです大人たちがいけないんですよね。」

大人の背中を見て子供が育ちます。今の私たち大人の「生き方」が、この小さな公園に表れているようで、私たちがどのようにしていかなければならないかを、考えさせられたゲストの一言でした。

大人の背中を見て子供が育ちます。今の私たち大人の「生き方」が、この小さな公園に表れているようで、私たちがどのようにしていかなければならないかを、考えさせられたゲストの一言でした。



「さあ、これから分別！」

持ち帰ったゴミは早速分別し、リサイクルできるものはきれいに洗い終了です。終わりの会では「これから、捨てる人になってください」とお話ししました。

最後は「洗車に学ぶ会」。一年で寒い日がつづくこの二月、参加されるゲストは寒さで肩を凍ませ、手を擦りながら集合です。洗車の説明後、自動車の

外側、内側に分かれて開始です。掃除を始めると体が温まり、動きも軽快になってきます。



「ありがとう」の気持ちを込めて

実家の自動車も洗車したことのないゲストばかりで、参加される皆さんは、めずらしさもあって一所懸命に取り組まれています。いづれのボランティアにおいても、掃除を終えたゲストからは、「感謝」、「思いやり」といった言葉が聞こえてきます。

免許を取得するための教習所で、「掃除」を通してドライバートとしての持つべき「心」を養っていただくお手伝いをさせていただいていることに、私たちの方が「元氣」をいただいた二月でした。これからもゲストと共に、「成長」できるMランドでありたいと願っています。

ようこそ

二月二十日(月)、「トイレ掃除に学ぶ会」に、トリアスロンチームブレイブ監督八尾彰一様が、チーム生二名の方と共に、Mランドにお越しいただきました。

七年前に八尾様の地元でもあるこの篠山に、「トイレ掃除をしている教習所」があると聞かれて来所されたのをきっかけに、以来チーム生をはじめ、有縁の方々と度々お越しいただいております。



トイレの空気もさわやかです

トリアスロンと掃除という、一見関係が無いように思われますが、五十歳代にして自己ベストを記録された八尾様に、「体力が衰えていく年齢で、なぜこのような記録が出せるのですか?」とお伺いしたところ、「自転

車を舐められるくらい磨いて手入れすると不思議です。自転車に応じてくれるんですよ!」と、目を丸くされてお話しされたのが印象的でした。

そしてご自身もこれまで「掃除」を通して、チームの方々と「心磨き」に取り組まれており、二月十八日には「大阪掃除に学ぶ会」下正晴様をお招きされて、チームでトイレ掃除を実践され、そのようすを朝礼でご紹介していただきました。



感想発表される八尾様

「心を育むトリアスロンを貫き、地域社会の役に立ち、スポーツを通して喜びをわかち合う倅せの場造り」を理念に取り組んでおられるチームブレイブ様と自動車教習所。舞台は違いますが、「社会をよくしていこう」との思いは同じで、そんな八尾様よりいつも刺激をいただいております。

笑顔が好きです

二月十四日は、チョコレートに女性から好意を寄せる男性に贈るバレンタインデーです。今年も男性だけでなく、「あなたの笑顔が好きです」の気持ちを含めて、女性ゲストの皆さんへもチョコレートをお贈りしました。



心を込めて

朝、フロントにお越しになられたゲストお一人おひとりに全職員が想いを書いたメッセージ添えてチョコレートをお渡ししました。

最初は何かのことが分からなくても、今日が何の日か理解されると表情が一転、「いい笑顔」をされました。



「どうぞ、私たちからです」

営業チーム 中野 聡

切磋琢磨

始業時間が早まり、夜明けきらない早朝から教習準備に追われる職員も、朝礼前の十分間の職場磨きは欠かしません。

現在五つの班で取り組んでおり、一月より毎週火曜日を各班ミーティングの日とし、個々の進捗状況や計画を確認する日としています。



仕上り具合をチェック

普段は個々で仕事をしていきますが、そうじの力は社員間のコミュニケーションを高めることにも一役買っています。



10分間、無心に

行ってきました

二月二十六日(日)に行われた「ピカピカさきさまプロジェクト」に行ってきました。

これは三月五日(日)開催の、第三十七回篠山ABCマラソン大会で、参加者に気持ちよく走っていただくために、市内有志の方々企画された道路のゴミ拾いです。



笑顔でいっぱいでした

今年には三名のホーム生も大会に参加されるとのことで、「また、すぐに篠山に戻ってきます」と嬉しいことばをいただきました。



走ってきます!

所長 永井 興喜

今月のありがとうカード

インストラクターの皆さま  
皆さんには、朝のボランティアでもお世話になりました。Mランドでは学科や運転だけでなく、掃除から学ばせていただいたことも多くあり、これからの自分のためになったと思います。この教習所で学んだことを、卒業した後も大切にして、一人前の立派なドライバー、大人になりたいと思います。  
本当にありがとうございました。  
黒田 彩愛 様  
「私たちの方こそ、ありがとうございました」 職員一同

「掃除に学ぶ会」

三月十二日(日)  
午前七時~八時  
八上小学校東トイレ  
で行います

編集後記

篠山にいと分かりませんが、益田から来られる小河会長はいつも「こんない街はない」と言われます。当たり前のように住んで、仕事をして。本当はすごいこと、幸せなことだと気付かねばなりません。  
(徹)